W32-R6452　エーディーシー

デジタルマルチメータ
R6452A

使用できる機種　R6452A, R6451A, R6452E

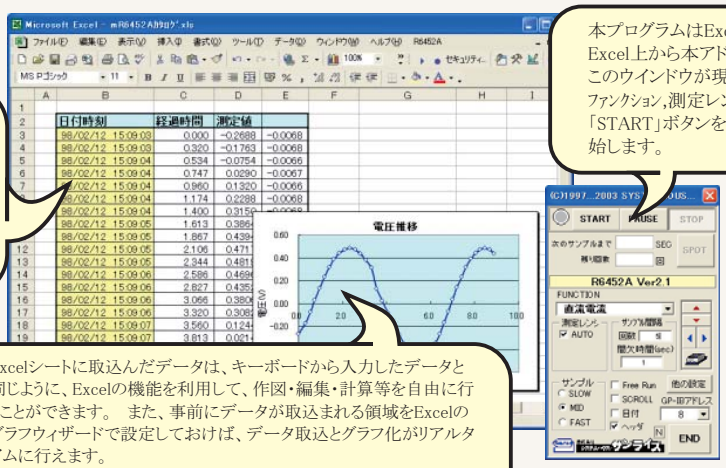
品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R6452-R	ラトックシステム製	50,000円	WinXp/Vista/7 Excel2002/03/07/10
W32-R6452-N	NI製		
W32-R6452-C	コンテック製		

R6452A,R6451A,R6452Eは、エーディーシー社の商標です。

機能

・データロガーとしての活用
指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。
・製品検査への活用
被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。
・Bチャンネルも同時取込み
Bチャンネルのデータも同時にExcelに取込みます。

概要



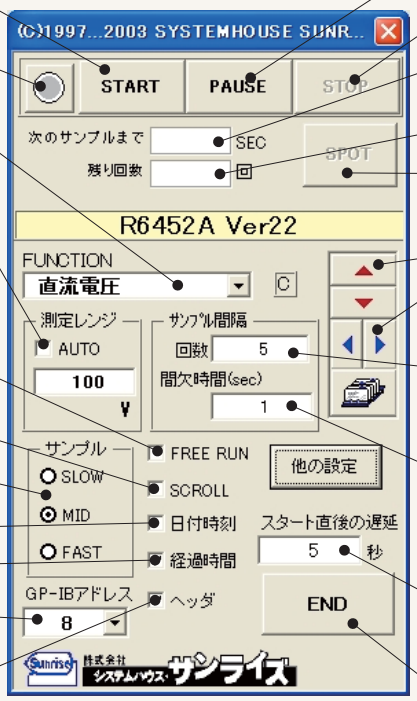
スタートすると、ﾌｧﾝｸｼｮﾝ・測定ﾚﾝｼﾞ・ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ速度を設定した後、指定されたｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウインドウが現われます。ﾌｧﾝｸｼｮﾝ,測定ﾚﾝｼﾞ,時間間隔,取込回数等を設定し「START」ボタンをｸﾘｯｸするとデータの取り込みを開始します。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。　また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。

操作説明



測定器からデータの取込を開始します。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

測定ﾌｧﾝｸｼｮﾝを設定します。

測定レンジをAUTO/MANUALで切換えます。AUTOのﾁｪｯｸを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値に一番近い1つ上のレンジに設定されます。

チェックを付けると、測定中、FREE RUNとなりチェックを外すとHOLDモードになります。

データの入力と共にシートをスクロールします。

マルチメータのサンプリング速度を設定します。

データに日付時刻を付加します。

測定開始からの経過時間を付加します。

マルチメータ本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。

データの取込を一時中止します。もう一度ｸﾘｯｸすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

測定中、間欠時間が2秒以上の時、サンプリングまでの残り時間をカウントダウンします。

測定中、取込の残り回数を表示します。

「PAUSE」中、有効となり、ｸﾘｯｸする毎にデータを取り込みます。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動します。Excelシート上のカーソルを移動しデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、64000回と解釈されます。入力できる最大回数は、64000回です。

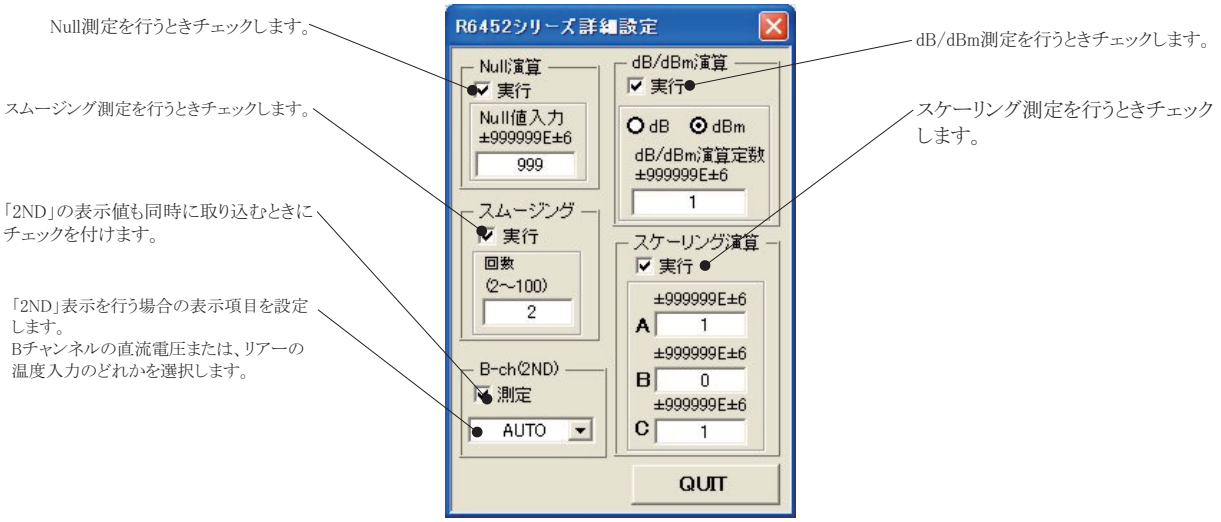
データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合 ゼ ロが入力された場合は、最速でデータを取り込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。

「START」ボタンを押してから、最初に測定を行なうまでの待ち時間を入力します。最大入力時間は、72,000秒です。空欄はゼロと判断されます。

アドインを終了します。

注）本アドインを起動するまえに、マルチメータをGP-IBで接続し、電源をONにしておいてください。
　アドイン起動時に、接続されているマルチメータのタイプ（　R6451A,R6452A,R6452E)を自動的に識別します。

他の設定



スポット測定モードの使用方法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする変わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット測定モード」では、「 経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。 例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。
「スポット測定モード」を終了するた めには、「STOP」ボタンをクリックします。